



前進座創立九十五周年記念 京都初春特別公演

有吉佐和子 原作

津上忠 脚色 鈴木龍男 改訂・演出

出雲の阿国

いづものおくに



以前の舞台より

【ものがたり】

時は信長亡き後、秀吉が天下人となった安土桃山時代。出雲大社の御札売りから始まった阿国一座の念仏踊りは、四条河原で人気を博す。阿国の夫、鼓師三九郎の才覚で、やがて淀君の前で踊るまでになる。しかし、加茂川の洪水で河原の小屋が流されてしまう。だが政商末吉勘兵衛の後ろだてで小屋を再建する。猿若座の道化方だった伝介が一座に加わると、男姿の阿国と女装した伝介の滑稽な踊りが人気を呼び、舞台はいっそう活気を帯びる。しかし、河原に集まる庶民の前で踊りたい阿国と、貴人や富豪に取り入ろうとする三九郎との間には、心の隔たりが……。

阿国を慕って出雲から出てきたお菊が加わり、舞台がさらに芝居仕立てになり、一層華やき、阿国歌舞伎と呼ばれるようになる。一方で遊女歌舞伎が盛んになり、阿国一座を脅かす。三九郎の心はお菊に移り、阿国一座にも見切りをつけ、四条河原の小屋を勝手に売り払い、二人は江戸へと去っていく。勢いをましてきた遊女歌舞伎に押される一座。阿国に恨みを抱く九蔵の策謀で踊り手も囃子方も一人二人と引き抜かれ、あבק都からの追放を命じられる。胸を病んでいた伝介は、必死に一座を守ろうとして血を吐いてしまう。

阿国は、しかたなく伝介らを連れて、出雲へと帰っていく。幼なじみのお加賀の草庵に身を寄せた阿国は、故郷の人々の、斐伊川の洪水による災難を知って、鑑（たたら）の長、田部莊兵衛の前で天下第一の踊りを見せ、洪水のもとになる鑑の砂止め工事を願い出るのだった。

松井誠プロフィール



25歳で劇団誠を立ち上げ。妖艶な女形は【生きる博多人形】、粋な立役は【長谷川一夫の再来】と称される。2000年に中日劇場で初座長公演を成功させ、その後、明治座、御園座、新歌舞伎座といった大劇場にて数々の座長公演を行う。『雪之丞変化』や『男の花道』などの名作時代劇から、演劇史上初となるお岩と伊右衛門二役早変わりの『新・四谷怪談』など、娯楽性に富んだ作品まで、時代劇の伝統を継承しつつ演じることのできる役者の一人。舞台を中心とした活動の一方、NHK大河ドラマ「風林火山」の北条氏康役をはじめ、TVドラマや映画にも多数出演。近年では、脚本家、演出家、振付師としても活躍している。

前進座への出演は、2011年の前進座創立80周年 前進座劇場企画『十六夜清心一花街模様藍色縫』以来、15年ぶりとなる。

2026年 1月4日(日)～11日(日) 京都駅ビル内 京都劇場

《開演時間》 午前の部 11:00 / 午後の部 15:30

《ご観劇料金(税込)》 1等席 10,500円 2等席 5,500円 3等席 3,500円

●お問合せ 劇団前進座 関西事務所 TEL: 06-6212-9600 (平日 10:00～17:00)

団体観劇受付中

一般前売り 12月上旬予定